

MAACH

歴史的建造物の保存を支援する チャリティイベント (神田万世橋地区) 講演会&クラシックコンサート

《演奏予定》

A. ヴィヴァルディ ソナタ イ長調 Op.2-2 RV31, L.v. ベートーヴェン ロマンズ ヘ長調 Op.50, R. シューマン 幻想小曲集 Op.73, H. ヴェーニャフスキ 華麗なポロネーズ 二長調 Op.4, N. パガニーニ ラカンパネラ 作品7, S. ラフマニノフ ヴォカリーズ 作品 34-14, W.A. モーツァルト ロンド ヘ長調 KV373, E. エルガー 気まぐれ女 作品 17, J. マスネ タイスの瞑想曲, P.d. サラサーテ ツィゴイネルワイゼン 作品20

《都選定歴史的建造物》



八嶋博人(バイオリン)



元井美幸(ピアノ)



いせ源本館

神田まつや

竹むら

ぼたん

1/25 (日)

ステーションコンファレンス万世橋

JR 神田万世橋ビル 3階(千代田区神田須田町1-25)

[14:00>>>16:30(開場 13:30)]

第1部 講演会

- ・ 万世橋駅の今昔について
(公財) 東日本鉄道文化財団 学芸員 誉田匠
- ・ 歴史文化と音楽について

ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者 浮ヶ谷孝夫

第2部 クラシックコンサート

八嶋博人(バイオリン) 元井美幸(ピアノ)

プロデュース 浮ヶ谷 孝夫

■共催 東京都 (公財) 東京都防災・建築まちづくりセンター

■協力 (株) ジェイアール東日本ビルディング

(株) JR 東日本ステーションリテイリング

(公財) 東日本鉄道文化財団

お申込方法について

[募集] 120名(多数の場合は抽選)

[お申込] 往復はがきで必要事項をご記入のうえ、お申込ください。

(往信用裏面)

- ① 催し名
- ② 希望人数(1名又は2名)
- ③ 代表者住所
- ④ 代表者氏名
- ⑤ 年齢
- ⑥ 電話番号
- ⑦ 今後、お知らせの提供を希望する方は「お知らせ希望」とお書きください。

(返信用表面)

お申込代表者の住所、氏名

[締切] 平成26年12月12日(消印有効)〈多数抽選〉

[結果通知] 平成26年12月25日頃発送予定

[参加費] お一人様1,000円※

※参加費は「東京歴史まちづくりファンド」への寄附金とさせていただきます。

[宛先] 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

東京都都市整備局緑地景観課

03(5388)3359

《往信用表面》

《返信用裏面》

《返信用表面》

《往信用裏面》

〒163-8001	新宿区西新宿2-8-1
52 往信	こちらの面は何も書かないで下さい
東京都都市整備局 緑地景観課 行	

〒000-0000	申込代表者の住所
52 返信	申込代表者の氏名
	①催し名
	②希望人数 (1名または2名)
	③申込代表者の住所
	④申込代表者の氏名
	⑤年齢
	⑥電話番号
	⑦お知らせを希望する 又は お知らせを希望しない

東京歴史まちづくりファンド

歴史的な価値を持つ建造物は、まちの記憶を次世代に引き継ぐ貴重な景観資源です。地域の景観を特徴づける歴史的建造物を次代に継承していくために、個人や法人の皆様から寄附を募っています。頂いた寄附はファンドに積み立て、都選定歴史的建造物の保存に係る助成に活用させていただきます。この取組みにご賛同頂き、寄附のご協力をよろしくお願いいたします。

神田万世橋地区のあらまし

◆万世橋駅の歴史

1912(明治45)年初代駅舎

中央線のターミナルとして万世橋駅が開業し、交通の要衝として賑わう
(駅舎の設計：辰野金吾)

1925(大正14)年2代目駅舎

1923(大正12)年9月1日の関東大震災で、初代駅舎は内部や屋根が焼失してしまい、残存した基礎を利用し平屋建ての駅舎が完成

1936(昭和11)年

呉服橋付近から鉄道博物館(昭和23年交通博物館に名称変更)が移転

1943(昭和18)年

太平洋戦争激化の中、乗降客減少に伴い、万世橋駅の営業を休止

2006(平成18)年

交通博物館が閉館(2007年さいたま市大宮に鉄道博物館として移転)

2013(平成25)年

JR神田万世橋ビル竣工、旧万世橋駅遺構整備・万世橋高架橋開発を経てマーチエキュート神田万世橋開業



所蔵：鉄道博物館



所蔵：鉄道博物館

交通博物館



所蔵：鉄道博物館

◆歴史的建造物の紹介

現在、都選定歴史的建造物として4件が選定され、老舗の店舗として利用されながら建物が保存されています。



いせ源本館
1930(昭和5)年建築



神田まつや
1927(昭和2)年建築



竹むら
1930(昭和5)年建築



ぼたん
1929(昭和4)年建築

万世橋駅の今昔

明治時代、ここ神田須田町は東京屈指の繁華街でした。1912(明治45)年、赤レンガの壮麗な駅舎を持つ万世橋駅が開業し、ドイツ人技術者の指導で完成した赤レンガの高架橋の上を電車が走りました。1943(昭和18)年に駅は休止になり、70年に渡り親しまれた交通博物館も2006年に閉館、現在はJR神田万世橋ビルになりました。そんな変遷を、100年以上に渡り静かに見てきた赤レンガの高架橋は、数々の記憶を随所に留めたまま、マーチエキュート神田万世橋としてよみがえりました。2度の震災や戦争を経て、今なお現役の高架橋と駅遺構の見どころを、歴史と共に話したいと思います。



公益財団法人東日本鉄道文化財団
学芸員 誉田 匠

歴史と文化と音楽に寄せて

「神田鍛冶町角の家具屋」の近くの今は無き今川中学校に学んだことから私の人生は変わりました。ブラスバンドを始めたことで音楽家への道が始まったのです。中学の友達とよく神田、秋葉原近辺を歩きました。第2の故郷のようです。

今回の紹介すべき建造物、万世橋のショッピングセンターはまるでハンブルグのアルスター湖沿いのアーケード街に似てチョッと素敵です。バイオリンとピアノのコンサート、イメージは100年前のパリの“サロンコンサート”チョッと素敵なコンサートです。



ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者
浮ヶ谷 孝夫